

# 富山県感染症発生動向速報

(2025年第13週分・3月24日～3月30日)

## ■今週の主な動向

○百日咳が今週14例（2025年累積42例）報告されました。（昨年の年間報告数：2例）

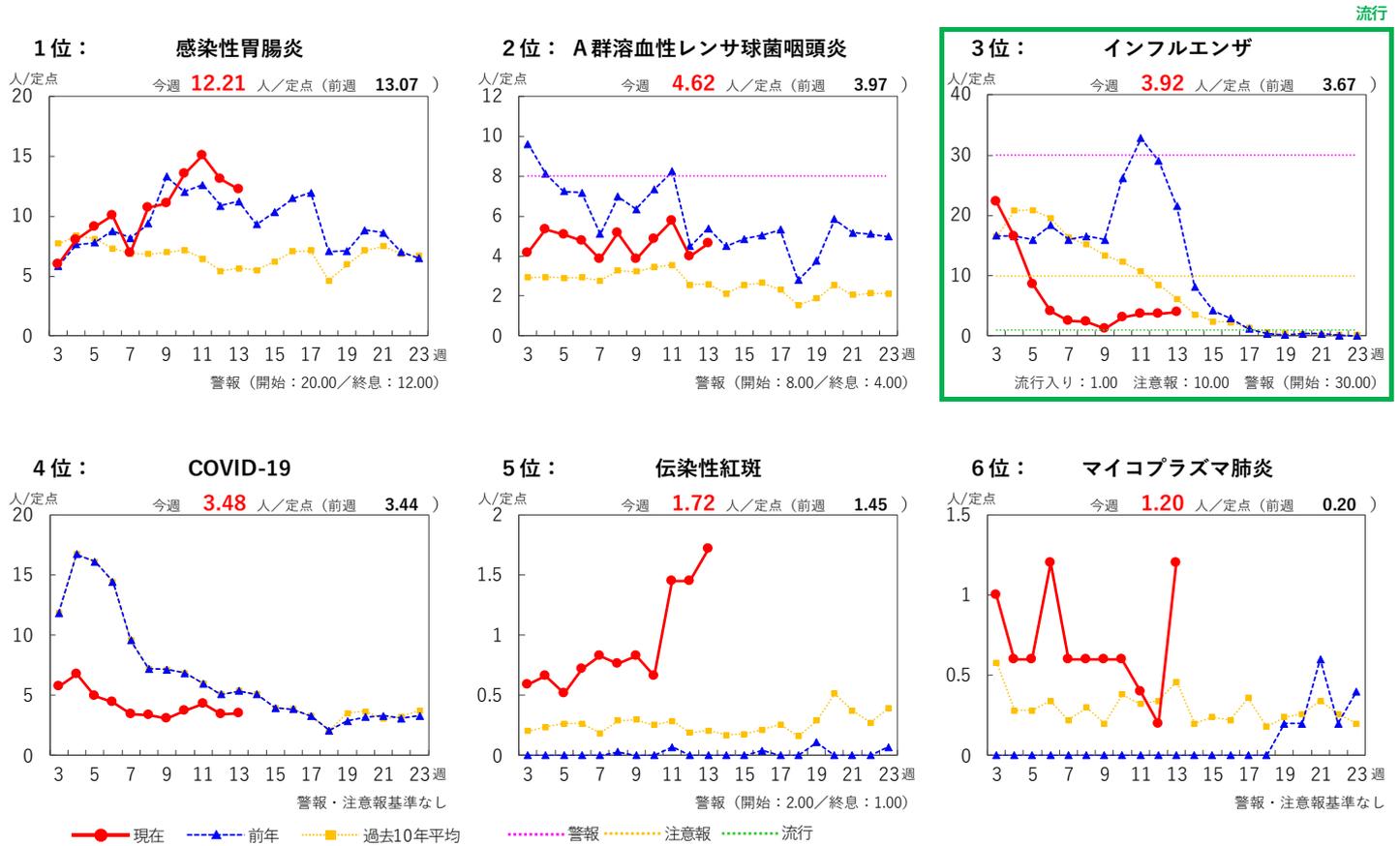
富山市保健所管内を中心に百日咳患者の報告が続いています。患者は10～14歳の小児に多い状況です。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。（[第10週インフォメーション参照](#)）

○伝染性紅斑の報告数が増えています。

富山県内の患者報告数は、第11週に急増し、今週さらに増加しました。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので、注意が必要です。（[第7週インフォメーション参照](#)）

## ■定点報告の感染症

今週の富山県内上位6疾患（第13週・3/24～3/30）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

## ■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 1件（80歳代、女性）
- 五類感染症 後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む） 1件（第10週診断分：40歳代、男性）
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件（80歳代、女性）
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件（60歳代、女性）
- 梅毒 1件（30歳代、男性、早期頭症梅毒Ⅰ期）
- 百日咳 14件（①10歳未満、男性 ②～⑭すべて10歳代、男性）





## 水ぼうそうは ワクチンで予防しましょう

### 《 インフォメーション 》

#### ●水痘（水ぼうそう）

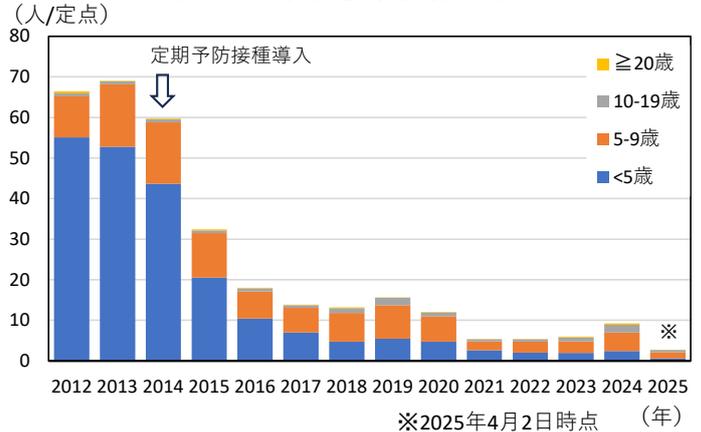
県内の29の小児科定点からの水痘患者報告数は、2014年からの定期予防接種導入後に大きく減少しました。5歳未満では速やかに減少し、2021年以降横ばいで推移しています。また、5歳以上の報告数は、2016年から2020年まではほぼ横ばいでしたが、2021年以降は減少しました。しかし、2024年5月下旬から6月の期間、県内の小学校において水痘の集団感染があり定点報告数が急増しました（下図緑矢印）（<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/45/537/article/120/index.html>）。

2025年の第10週から水痘の報告が増加しています。（下図黄矢印）患者は5歳以上の定期接種対象の小児が半数以上を占めており、ワクチン接種後のブレークスルー感染と考えられました。今週、第12週の県内の水痘の報告数は0.24人/定点となり、先週より減少しました。今後の発生状況に注意が必要です。

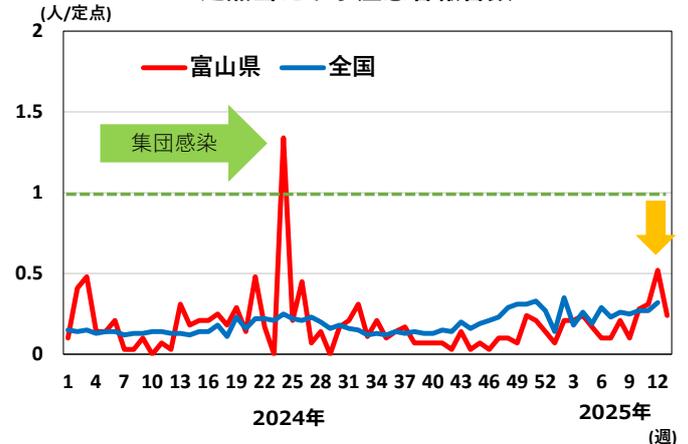
水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症で、小児期に好発します。感染力が強く、接触感染、飛沫感染、空気感染で人から人へ伝播します。感染後2週間程度の潜伏期間を経て、発熱とかゆみを伴う全身性の発疹で始まり、発疹は水疱、かさぶたへと変化し、通常1週程度で自然に治癒します。一方で、多くの合併症が知られており、成人や妊婦、免疫不全患者等は重症化のリスクが高く、時に致命的となります。

水痘は、ワクチンで予防可能な疾患です。日本では2014年10月から水痘ワクチンが定期接種となり、生後12～36か月の間に3か月以上の間隔をあけて2回接種することになっています。水痘ワクチンの1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。

定点当たり水痘患者報告数（富山県）



定点当たり水痘患者報告数



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第13週 2025年3月24日～2025年3月30日）

分類	疾患	今週報告分（第13週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核				1		1	1		5	4	15	25
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1		1	1		2	4	8	15
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
四類感染症	E型肝炎									2			2
	A型肝炎									1			1
	レジオネラ症									1			1
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									3		4	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1		3	4
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1		1	1		1	2	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	4		2	3	7	16
	梅毒					1	1	1		2		6	9
	百日咳					14	14			6	1	35	42
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	27	48	25	24	64	188	834	658	1,607	933	1,708	5,740
	COVID-19	3.86	9.60	1.92	3.43	4.00	3.92						
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	35	6	73	9	44	167	629	278	772	472	628	2,779
	咽頭結膜熱	5.00	1.20	5.62	1.29	2.75	3.48						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	8	4	3	13	29	14	12	70	32	79	207
	感染性胃腸炎	0.25	2.67	0.50	0.75	1.30	1.00						
	水痘	2		9		2	13	40	9	111	1	23	184
	手足口病	0.50		1.13		0.20	0.45						
	伝染性紅斑	3	10	48	7	66	134	49	101	594	61	807	1,612
	突発性発しん	0.75	3.33	6.00	1.75	6.60	4.62						
	ヘルパンギーナ	42	25	81	23	183	354	402	321	674	261	1,913	3,571
	流行性耳下腺炎	10.50	8.33	10.13	5.75	18.30	12.21						
	急性出血性結膜炎			2		5	7	2	7	17	4	50	80
	流行性角結膜炎			1		0.50	0.24						
	細菌性髄膜炎			0.13			0.03						
	マイコプラズマ肺炎	3	8	17		22	50	6	33	122	2	136	299
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.75	2.67	2.13		2.20	1.72							
眼科定点（7定点）	突発性発しん			2		1	3	2	4	20	8	26	60
	ヘルパンギーナ			0.25		0.10	0.10						
基幹定点（5定点）	流行性耳下腺炎					1	1		3	1	1	5	10
	急性出血性結膜炎				2		2			4	34		38
	流行性角結膜炎				2.00		0.29				12	1	14
入院サーベイランス（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
	マイコプラズマ肺炎	3	2	1			6	11	3	14	13	2	43
入院サーベイランス（5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	3.00	2.00	1.00			1.20			2			2
	インフルエンザによる入院患者（※1）		1				1	55	20	45	67	47	234
	COVID-19による入院患者	5	6	2	6	9	28	61	67	43	97	146	414

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

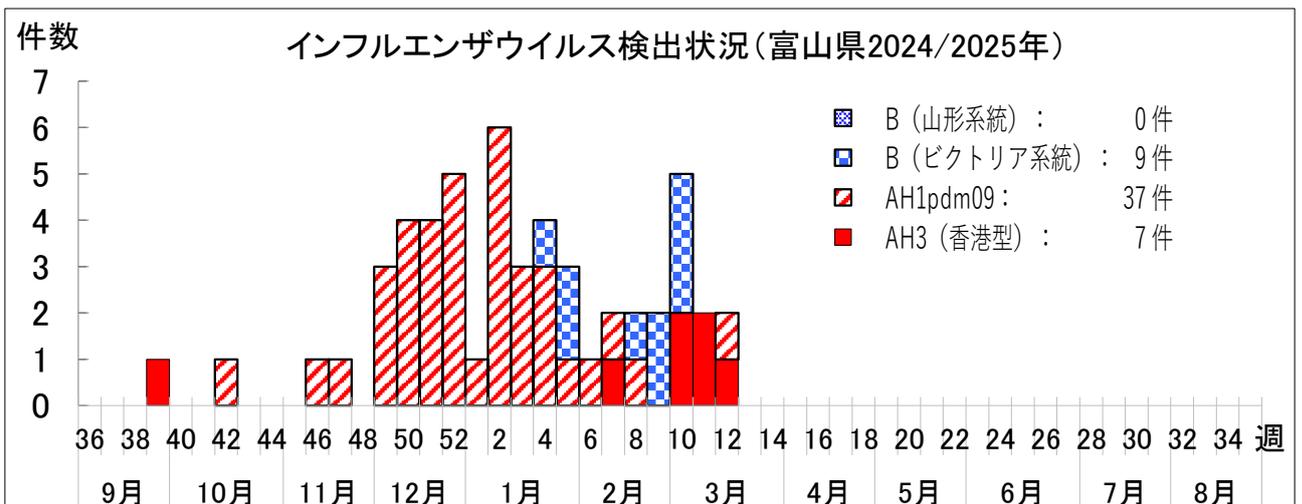
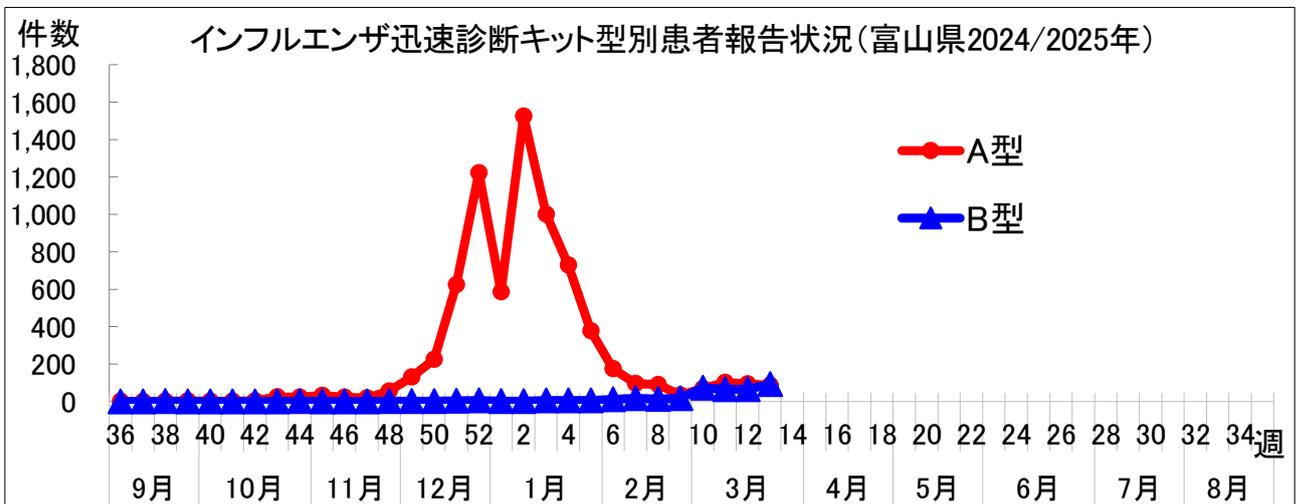
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が46.3%、B型が49.5%となっています。

### 第13週(3/24~3/30)：富山県 3.92人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	3	24	0	27
中部	5 / 5	14	33	1	48
高岡	10 / 13	16	7	2	25
砺波	6 / 7	11	13	0	24
富山市	12 / 16	43	16	5	64
富山県	38 / 48 <sup>※1</sup>	87	93	8	188
富山県累計(2024年36週~)		7,362	391	501	8,254

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が38か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



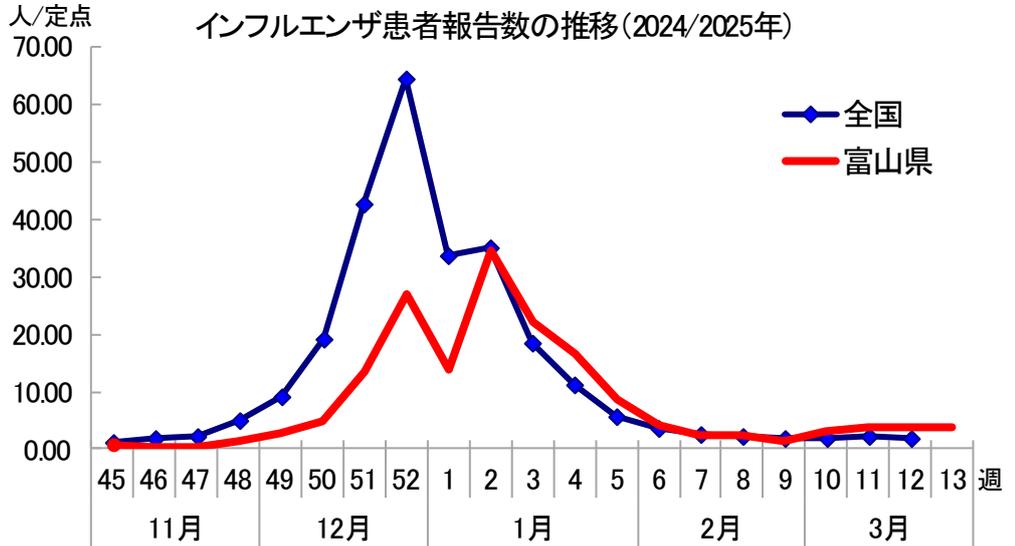


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第13週 (3/24~3/30) : 富山県 3.92 人/定点

新川 HC (3.86)、中部 HC (9.60)、高岡 HC (1.92)、砺波 HC (3.43)、富山市 HC (4.00)

県内の患者報告数は、第13週に3.92人/定点となり、前週(3.67)と比較して、やや増加しました。

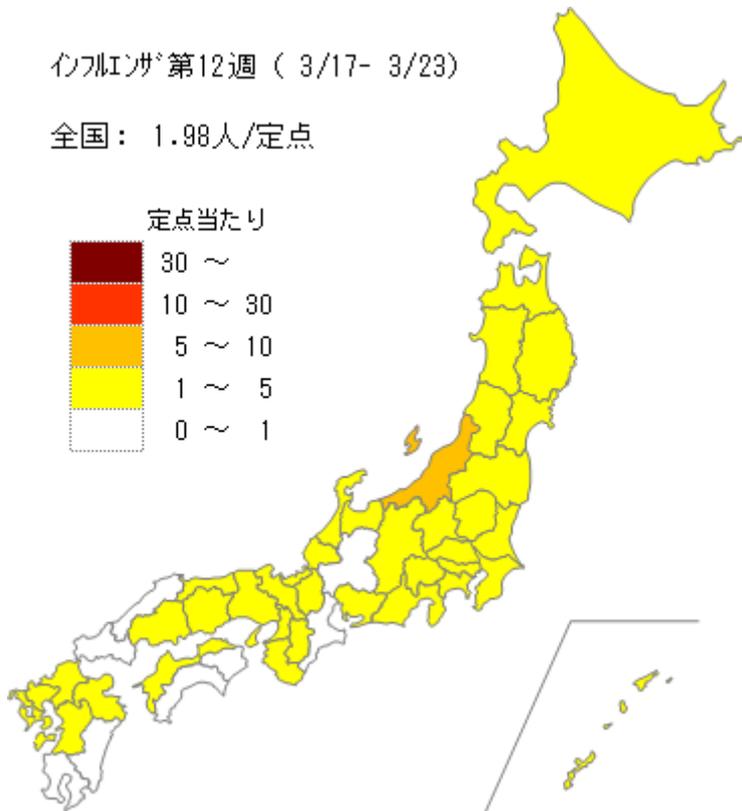


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第12週 (3/17~3/23)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.98 人となり、前週の 2.23 人より減少しました。16 県で前週より増加しています。31 都道府県で前週より減少しています。

インフル第12週 (3/17- 3/23)

全国: 1.98人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.79 ↓	滋賀県	1.25 ↓
青森県	1.79 ↑	京都府	1.57 ↓
岩手県	2.44 ↑	大阪府	2.02 ↓
宮城県	1.65 ↑	兵庫県	2.05 ↓
秋田県	3.08 ↑	奈良県	1.33 ↓
山形県	1.98 ↓	和歌山県	2.60 ↓
福島県	3.54 ↑	鳥取県	1.07 ↓
茨城県	1.52 ↓	島根県	0.87 ↓
栃木県	3.82 ↓	岡山県	1.94 ↑
群馬県	2.30 ↓	広島県	1.09 ↓
埼玉県	1.95 ↓	山口県	0.67 ↑
千葉県	2.18 ↓	徳島県	0.95 ↑
東京都	1.94 ↓	香川県	2.11 ↑
神奈川県	1.97 ↓	愛媛県	1.60 ↓
新潟県	5.02 ↓	高知県	0.57 ↑
富山県	3.67 ↓	福岡県	1.55 ↓
石川県	1.48 ↓	佐賀県	1.28 ↑
福井県	2.31 ↑	長崎県	1.72 ↑
山梨県	1.73 ↑	熊本県	1.34 ↓
長野県	4.80 ↓	大分県	1.29 ↑
岐阜県	0.60 ↓	宮崎県	0.93 ↓
静岡県	1.68 ↓	鹿児島県	0.80 ↓
愛知県	1.45 ↑	沖縄県	4.20 ↓
三重県	0.99 ↓	全国	1.98 ↓